

岐阜県立岐阜聾学校で防災講座を行いました

令和7年10月6日（月）、岐阜県立岐阜聾学校の小学部17名・中学部14名・高等部9名に防災講座を行いました。講座中は、先生が内容を手話で伝えて下さいました。当日は、学校の「命を守る訓練の日」で避難訓練も行われていました。

講座では、岐阜市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害などの学習や、映像・VRによる浸水疑似体験を行いました。体験後に、水害時にどのような避難行動をとるか聞くと多くが上階や高層マンションへ逃げると答え、垂直避難の意識が高いことがわかりました。

また、伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、小学部は各児童から上がった質問の中から「被害を受けた街の様子は？」「避難所に避難したときの気持ちは？」などの質問しました。中学部・高等部で行ったA1の画像認識機能を活用した防災クイズでは、グループ内で話し合いながら回答を決め、避難用品などについて学び、「楽しかった」との声がありました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

